

## 寒中お見舞い申し上げます。

しばらくご無沙汰しておりますが皆様如何お過ごしですか？

お陰様で私達2人とも、それなりに、助け合いながらバランスを取った生活をしております。

実は、二人揃って米寿を目前にした年代に入り、年賀のご挨拶は、今年で終了する予定でしたが、原田の兄が、昨年秋、亡くなり、喪中のご挨拶をしなければ成らない状況になりました。皆様からの年賀状は、最後の記念に是非頂きたく、喪中のご挨拶はせず、寒中見舞いの形に変えた失礼お許し下さい。

振り返りますと、かなり変わった人生を過ごしてきました。二人は、中学時代は同じクラス、高校時代は隣のクラスという間柄でした。交友関係にほとんど接点が無く、言葉を交わした記憶がありません。中学時代は同じクラスでしたので、多少、何か話をしたかも知れませんが…

二人とも教師という職業を選択した事から、同じ職場で再会し、人生を共にすることになりました。縁は不思議なものです。想像もしなかった組み合わせに、中学、高校の同級生達は驚いたようです。

二人揃って同じ年、話題は尽きません。同級生達の話、戦中戦後の食糧難のやり繰り、紋別の町並みの記憶、同じ時代を経験しているので、話は次々と繋がります。仕事上での悩みのアドバイス、教え子達からの近況の知らせも可愛いです。

二人で趣味としてアマチュア無線を始めた事により、共通の領域は更に広がりました。

重美の夢は、車での全国一周、海外を10カ国以上訪れる、中国、長安の城壁に立つ…  
栄子の夢は英語を話せるようになり、海外の方々と交流を深める。趣味として、着物に関心が有り、古い着物が捨てられるのを惜しんでコートや、アロハシャツなどにリメイクするのも楽しかったです。

沢山の無線仲間との交流により、それらの夢は次々と叶えられました。日本ユニセフHAMクラブに所属し、バングラデシュ、ネパールからオンエアしたのも良い思い出です。

又、長年、長距離航海をする沢山のヨットをサポートするグループのお仲間に入れて頂きました。インターネットなどの無い時代でしたので、無線でのサポートは心強い存在だったと思います。

今では、全ての事が遠い過去のものになりつつあります。穏やかに日々を過ごしながら身の整理を心掛けています。

来年より、年賀状は、お出しませんが、お付き合いは続けさせて頂けると嬉しく思います。  
住所、電話番号は変わり有りません

皆様との、暖かな交流は、私達の人生を更に豊かなものにしました。  
長年のお付き合いに感謝すると共に、皆様の御健康と御多幸を心よりお祈り致します。

2025, 2,

原田重美 原田栄子